

平和も暮らしも押しつぶす

大軍拡やめよ

日本共産党の小池晃書記局長は5月31日の参院予算委員会で、岸田文雄首相が5月23日のバイデン米大統領との首脳会談で大軍拡=「防衛費の相当な増額」を約束したことを追及しました。

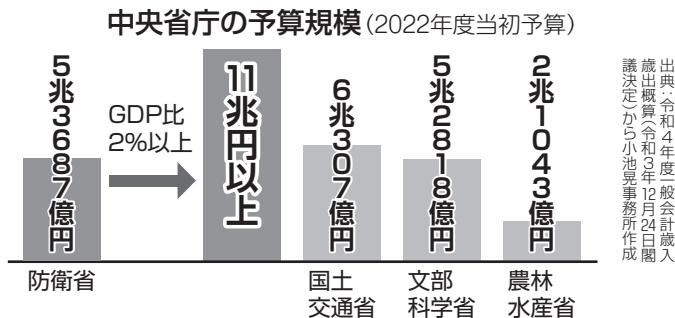
自民党は軍事費「対GDP比2%以上」を公約。これは

今の予算の2倍以上。そうなれば世界第3位の軍事大国となり、防衛省予算は国土交通省を上回り、厚生労働省に次ぐ規模になります。(図)



質問する小池氏

小池書記局長が追及



「相当な増額」なら財源は消費税増税か、医療・教育など暮らしの予算の削減と国債発行。小池氏は「日本を『軍事対軍事』の危険な道に引き込むだけでなく、暮らしを押しつぶすことは断じて許されない」と批判しました。

政治の最大の役割は、戦争を未然に防ぐことです。政府の議論は、外交の話はなく軍事力の強化ばかり。小池氏は、日本には東アジアを戦争の心配のない地域にしておくための憲法9条を生かした平和外交こそ求められると主張しました。

折り目

生活破壊 無策の岸田政権

値上げ止まらない

物価高騰に悲鳴が上がっています。平和とともに、暮らしがかかった参院選。物価高騰に無策の岸田自公政権VS物価高騰から暮らしを守るために、新自由主義を転換し、「やさしく強い経済」を提案する日本共産党との対決です。

物価高騰の要因は「新型コロナ」と「ウクライナ侵略」だけではありません。「異次

共産党 5つの提案

- ①消費税5%に減税、インボイス中止
- ②大企業の内部留保課税で賃上げ促進
- ③社会保障と教育予算を充実
- ④気候危機打開へ原発ゼロ、再エネ普及
- ⑤ジェンダー平等一男女賃金格差是正を

元の金融緩和」による異常円安という「アベノミクス」の失政です。

暮らしをよくする一番の力

日本共産党



アベノミクスの8年間で大企業の内部留保は133兆円も増えました。日本共産党は内部留保課税で賃上げ促進を提案しています。党をつくって100年、財界献金を一円も受け取らず、財界権益にズバリメスを入れる共産党を伸ばすことが暮らしをよくする一番の力です。

制度解説

参院選挙投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「候補者の名前」で

政党内を参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます

近畿民報

2022年6月 No.2 (第506号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。